

学校と家庭・地域を結ぶ

白布城だより

2016 冬

栃木県立真岡高等学校定時制 栃木県真岡市白布ヶ丘24-1

Tel 0285-82-3413

Fax 0285-82-2913

巻・頭・言

「今」を生きる

教頭 渡辺 徹

かなり前になりますが、総合教育センターという所の教育相談員としてカウンセリングの仕事をしていたことがあります。その時の上司から、ミヒャエル・エンデ（ドイツの作家）が書いた『モモ』という児童向けの本を読むように言われました。読んでみて、「なるほど、これはカウンセリングそのものだ。」と思いましたが、主人公のモモ（女の子）に、そうじ夫ベッポが自分の仕事について語る場面があります。

・・・「なあ、モモ。」・・・「とっても長い道路を受けもつことがよくあるんだ。おっそろしく長くて、これじゃやりきれない、こう思ってしまう。」・・・「そこで、せかせかと働きます。どんどんスピードをあげてゆく。ときどき目をあげて見るんだが、いつ見ても残りの道はちっともへっていない。だから、もっとすごいいきおいで働きまくる。心配でたまらないんだ。そしてしまいには息が切れて、動けなくなってしまう。こういうやり方はいかんのだ。」・・・「いちどに道路ぜんぶのことを考えてはいかん。次の一步のことだけ、次のひと呼吸（いき）のことだけ、次のひと掃（は）きのことだけを考えるんだ。いつも、ただ次のことだけをな。」・・・「すると、楽しくなってくる。これがだいじなんだな。楽しければ、仕事がうまくなってくる。こういうふうによらにやあだめなんだ。」・・・「ひょっと気がついたときには、一步一步すすんできた道路が全部終わるとる。どうやってやりとげたかは、自分でもわからん。」・・・「これがだいじなんだ。」・・・

そうじ夫ベッポの仕事の仕方は、人の生き方のひとつを表しているように思えます。将来への目標や夢をしっかり持ち、それに向かって努力を続けていくことはすばらしいことです。しかし、生徒の皆さんのなかには、まだ自分の目標や夢が見つかからない、わからない、という人もいるのではないのでしょうか。そのような人は、無理に先を見通そうとしなくていい。あせらなくていい。そのような人は、今、自分の目の前にあることをガンバル。次の一步、また、次の一步と、今、自分ができることをガンバル。時間がたち、ひょっと気がついたときには、目指す目標や夢をちゃんと持っていて、しっかり何かをやりとげている。

（『モモ』は定時制図書室にもあります。興味をもった生徒は、この冬休みに読んでみてはいかがでしょうか。）

校内生活体験発表会が9月に行われました。クラス代表の生徒が自らの体験から気づいたこと、考えたこと、などを堂々と発表してくれました。どの発表もすばらしく、発表者の率直な想いがジンと伝わってきました。そして、発表会の最後に菊地校長先生から次のような講評をいただきました。

「皆さんの発表に共通したキーワードを言うなら、それは『今』だと思う。一瞬、一瞬の『今』を大切にすることが将来につながる。発表者それぞれの『今』。その『今』に、私は将来への頼もしさを感じることができた。」

千歳（せんざい）を觀（み）んと欲すれば、則（すなわ）ち今日（こんにち）をつまびらかにせよ

荀子（じゅんし）という中国の思想家の言葉です。「未来を知りたいなら、未来だけを考えてもダメ。それより、今日のことを明確に知ることが大切で、未来につながる兆（きざし）は現在の中にある。」という意味です。人の一生でいうなら、今日の生き方の有り様（よう）が、その人の未来を示し続けている、という意味です。

今年も残すところあとわずかです。今年、生徒の皆さんは自分の「今」をどう生きましたか？勉強、部活動、アルバイト、家族のこと、友人のこと、何かにガンバったか？どう、ガンバったか？自分の「今」をしっかり振り返ってみてください。そして、何かの気づきがあったのなら、その気づきとともに、新たな年に自分の「今」をスタートさせましょう。その「今」にこそ、皆さんの未来や将来の姿があるのだと思います。

保護者の皆様ならびに定時制後援会の皆様、そして、地域の皆様には日頃より本校定時制の教育活動に多大なご支援とご協力、そして、ご理解をいただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。皆様、どうぞよい年をお迎えください。

■2学期のあしあと■

◆次期生徒会役員任命式

台風13号が接近した9月7日水曜日、本校多目的ホールで、次期生徒会役員の任命式が行われました。菊地 透校長先生から、新会長の原田エイジ君（3年次）をはじめ、各役員に委任状が渡されました。

新生徒会役員

生徒会長	原田エイジ（3）				
副会長	下川 弘之（3）	塚田 優也（2）			
書記	中村けんちろ（3）	川畑みゆき（2）	石川飛砂雄（2）		
会計	小菅 亮太（2）	益子 七海（2）	橋本 明奈（1）		
会計監査	木村 裕道（2）	入江 涼（2）	増渕 晃大（1）		

◆校内生活体験発表会

前述の役員任命式に引き続き、校内生活体験発表会が開催されました。進行は、生徒会を中心とした生徒たちが担当。校長先生の「このような機会では、話し手が聴き手を育てる。各クラス代表は、自信を持って話をしてほしい。また、代表者だけではなく全員が考える習慣を作るきっかけにしてほしい。」と挨拶されました。

各クラス代表は、それぞれに個性のある発表を行いました。最優秀賞には、一昨年度代表だった渡辺弘樹君（4科）が、再び選ばれました。

上位入賞者は、次の通りです。

- ☆最優秀賞 渡辺 弘樹（4科）『後悔』
- ☆優秀賞 渡辺 玲奈（4）『成長できた4年間』
- 杉山 雄一（3）『二年目の学校生活に入って』

なお、渡辺君は、本校代表として、県高校定通文化発表会に参加しました。

◆キャリア教育講演会

今年度も、社会で活躍する先輩を招待して、「キャリア教育講演会」が行われました。

台風18号の影響で小雨がちらつく10月5日水曜日、平成23年度に卒業した中野真仁先輩と同26年度卒業の高橋香織先輩が駆けつけてくれました。

中野先輩は、建設関係の仕事に就いて実績を積み重ねていますが、「自分で目標を立てないと、同じことの繰り返しで終わってしまう。」と在校生に熱く語りかけました。

また、高橋先輩は、「社会人になると、上司や同僚とのつながりが大切。敬語表現など、きちんとできないとだめ。」と、基本的なことを実感込めて話しました。

在校生諸君も、きっと、「これからの高校生活」に役立ててくれることと思います。

◆県高校定通文化発表会

10月15日土曜日、宇都宮市の栃木県教育会館大ホールで、第33回栃木県高等学校校定時制通信制文化発表会が開催されました。

県下の定通制高校に通う生徒が一同に集まり、各校代表者の生活体験談を視聴したり、生徒作品の展示を見学しました。生活体験発表では、本校代表の渡辺弘樹君が、「高校生活において、自分のやる気と考えの甘さを自覚しながら周囲の友達のを助けを借り、将来の希望に向けてがんばっている姿」を、発表文全文を暗誦して堂々と発表しました。

また、展示の部門では、真岡ならではの「真岡木綿」の作品をはじめ、恒例のパン作品や書道作品、刺繍（ししゅう）作品などを発表し、多くの他校生の注目を浴びていました。

◆修学旅行

3年次生の行事として、10月19日水曜日から21日金曜日までの2泊3日で修学旅行が行われました。

今年度は、「広島県方面」への旅が計画され、平和記念公園や厳島神社の見学、お好み焼きの夕食など、真岡市には体験できない「日本」を味わってきたようです。

生徒の生の声は、来年3月1日に発行される生徒会誌『白布城45号』をご覧くださいと思います。

◆定時制祭

新生徒会役員の初めての行事である定時制祭が、11月2日水曜日に多目的ホールで行われました。前生徒会を踏襲して、ゲームなどを企画し、全校生徒も笑いに包まれて過ごした一日になりました。

生徒会活動は、ただ単に、楽しいことばかりではありませんが、役員ひとり一人の意識を高く持って、今後の活動を印象に残るものにしてほしいと、期待しています。



◆防火防災避難訓練

11月9日水曜日、暖房器具使用に先立ち、防火防災避難訓練が行われました。芳賀地区消防署の方々をお迎えして、講話や AED などの実習を行いました。あつてはならない火事や地震ではありますが、「無い」という保障はありません。このような体験が、いつか役に立つときがあると思われまますので、生徒の皆さんは、いざ、と言うときには積極的に活動してください。

◆国際理解教育

例年、3学期に行われていた国際理解教育ですが、以前、本校で4年間、ALT として授業をされたライアン ミヤシロ先生が、故郷のハワイから日本を訪れ、真岡市にも来てくださることになったため、11月25日金曜日に実施されました。

ライアン先生は、ハワイ州の紹介、文化や歴史的な話をされ、個人的な意見だかと断って「ハワイが、50番目の州としてアメリカ合衆国になったことは大変よかった。」と述べておられました。日本やフィリピンなどからの移民の多いハワイが、いっそう近い存在に思えた生徒も多かったのではないかと思います。

◆薬物乱用防止講話

12月14日水曜日、栃木県東健康福祉センター生活衛生課から北林 雪枝部長補佐を講師にお迎えして、平成28年度の薬物乱用防止講話が行われました。

新聞やテレビなどで、最近でも、薬物乱用者の報道が絶えません。「一度だけ」という安易な興味に負けてしまうととんでもない将来が待っている。一度、その世界に入ると抜け出すことができなくなる。脳は再生しない。……そんな「恐怖世界」が、「私たちの手の届くすぐソコにあるんだ」ということを改めて知らされました。

先生は、そんな恐ろしい世界の傍らで生活を送る私たちに、「ダメなものだめ！」の強い気持ちを持ち、「誘いを受けたら、逃げるのが第一。」と力説されました。

特に、年末年始は普段と違う空気が街中に流れます。そのような中でも、生徒たちに限らず、すべての人々が「誘惑に負けない勇気」を持たねばならないと思います。

◆全校ボランティア活動

12月16日金曜日に、生徒たちが日常生活を送るエリアで、全校ボランティア活動が行われました。恒例の、年末交通事故防止アピールと学校周辺の清掃を実施しましたが、特筆すべきことは、真岡西ロータリークラブの皆さまの賛同を得て、有志の方々とともに初めて活動したことです。

社会の第一線で活躍しているロータリアンの皆さまも定時制高校生も、思いは一つです。交通ルールを遵守し、無事で幸せな日々を過ごしたいと改めて思いました。

また、学校には、多くの樺（けやき）が植えられています。この時季になると多量の落ち葉が隣家の庭先にまで散ります。学校周辺の皆様にはご迷惑をおかけしているので、生徒たちも一生懸命に掃き掃除に取り組んでいました。

学校は、地域の方々と切っても切れない関係にあります。教職員も含め、本校関係者も、お世話になっている地域の皆様との連携を深めていきたいと存じます。

◆第2学期校内体育大会

例年より暖かな12月21日水曜日、講堂で2学期校内体育大会が行われました。

今回の種目はバレーボール。2学期の体育の授業で取り組んできた技術とチームワークの力を発揮しようと、生徒（選手）たちは元気にボールを追っていました。

結果は、次の通りです。

☆優 勝 4 年次
☆準優勝 2 年次 2 組

◆終業式

冬至も過ぎた12月22日木曜日、第2学期の終業式等が多目的ホールで行われました。

終業式で菊地校長先生は、2学期を総括した後、次のような話を披露しました。

「現在のパナソニックを一代で築き上げた松下幸之助氏は、幼少期はたいへん苦しい日々を送った。しかし、そんな生活を『辛い』などとは一切言わなかったそうだ。

夏の暑い日に屋根裏で電気工事をしていても、『確かに暑い。しかし、屋根裏から出たときの爽快感は何ものにも代えられんな。』と語ったそうだ。また、世界には、握り飯ひとつで幸せになれる子どもが大勢いる。しかし、握り飯が一つだ、と言ってふてくされる子どももいる。同じ状況にあっても、ある人は不幸と言いいある人は幸せだと感じる。つまり、考え方一つで、一事が『不幸せ』にも『幸せ』にもなるのだ。」

生徒たちに、自分の「今」を振り返り、より豊かな精神生活を求めて生活することを期待すると述べられました。この話は、皆の心の片隅に染みこんだことと思います。



■トピックス■

●同窓会長・定時制後援会長 福田武準氏、ご逝去

去る9月16日金曜日、本校全日制の卒業生で、福田記念病院理事長、前真岡市長、そして、真岡高校同窓会長や定時制後援会長を、長年務められた福田武準（ふくだけとし）氏がお亡くなりになりました。享年74歳。10月16日日曜日に、真岡市生涯学習館（旧二宮町民会館）で「偲ぶ会」が開かれました。

福田先生は、人の悪口を一切言わなかった、と故人の奥様が挨拶で述べておられましたが、真岡市長を辞されたのち、本校定時制後援会長に就かれて永年にわたり真高定時制の発展に尽力されました。今となつては、直にお礼の言葉を述べることは出来ませんが、私たち一人ひとりの胸の内に先生は未永く生きつづけられると思います。

改めてご冥福をお祈り申し上げます。

●グラウンド改修工事竣工式並びに大塚 実氏胸像除幕式

去る10月28日金曜日、竣工式典と除幕式が本校講堂および校庭で行われました。

この、人工芝校庭は、本校の大先輩である大塚商会名誉会長の大塚 実氏のご厚意で完成したのですが、栃木県下の県立高校では初の快挙となりました。

詳細を記すことはできませんが、ぜひ、生徒会誌『白布城45号』をご覧くださいと思います。

●第67回芳賀地方芸術祭文芸部門、参加

平成28年度の1、2年次生は、「芳賀地方芸術祭文芸部門」に挑戦しました。

小、中学校でも勉強する韻文（詩・短歌・俳句など）ですが、作品制作のノウハウについて時間をとってきちんと学び、作品制作に取り組みました。

☆詩部門

特 選 高島 共平（1） 入 選 佐藤 未来（2）

☆短歌部門

入 選 川畑みゆき（2）

☆俳句部門

入 選 上澤 玲南（2） 塚田 優也（2） 野澤 茉衣（1）

2学期の出席率（％）

□1-1	（95.9）	□1-2	（90.3）
□2-1	（89.9）	□2-2	（91.4）
□3-1	（94.3）	□4-1	（95.9）

3学期のおもな行事（予定）

1月10日	火	3学期始業式
11日	水	金曜日の時間割
18日	水	環境教育
30日	月	（卒業年次生）学年末テスト（～1日）
2月2日	木	（卒）特別時間割（～3日）
6日	月	（卒）卒業生諸指導
7日	火	（全校生）生徒休業
8日	水	予餞会
21日	火	（在校生）学年末テスト（～23日）
28日	火	（全定合同）卒業式予行他
3月1日	水	第45回卒業式
3日	金	生徒休業
16日	木	生徒休業（17日も）
21日	火	生徒休業
22日	水	総合学習のまとめ
23日	木	校内体育大会
24日	金	修業式他



白布の風

～あとがきにかえて～

今年も、残すところあとわずかとなりました。保護者と白布ヶ丘にお住まいの皆様、そして、定時制後援会の皆様、皆様にとってこの1年はどんな年だったでしょうか。

目を世界に転じれば、英国のEU離脱の国民投票や米国の大統領選挙など、これまでの価値観を大きく転換させる出来事が目につく年でした。新聞の論説などを読んでも、世界の潮は、これまでとは違う方向に流れだしたような兆候が伺われると報道されています。

私たちは、そんな「激変」の時代に生きているわけですが、本校定時制の生徒は、今年も、地道に日常生活を送れたと思います。しかし、「砂をかむような味気ない」努力が、いつか黄金色に輝く「自分」を創出することを信じて、毎日を精進してほしいと思います。

クリスマス、そしてお正月。わくわくする時期を迎えますが、生徒の皆さんには、真岡高校生としての自覚を胸に秘め、「至誠」の精神を忘れず、元気に新年を迎えてほしいと思います。

どうぞ皆様、よいお年をお迎えください。